



持続可能なデジタルゆいまーる

お手助（OTESUKE）

地域の困りごとに手が届く人をつなぐ新しい仕組み

1 取り組むべき課題の提示 地域の現実：何が起きているのか

現状



地域の困りごとが増え、
内容も専門的になっている




自治会の加入率が減少

その結果、地域の対応が追いついていない。

課題

地域の課題と解決主体を結びつける持続的な仕組みが存在していない。

- 専門性を持つ企業や人材と連携できていない
- 持続的に運営できる構造になっていない
- 多様な人が関われる設計になっていない

 **地域の課題と解決主体を結びつける仕組みとは？**

2. 結論（企画内容）

① 地域の課題と解決主体を結びつける仕組みとは？

② 地域課題と解決主体を接続する、持続可能なデジタルゆいまーる

地域の困りごとに“手が届く人”をつなぐ

お手すき

スキル・余剰時間

×

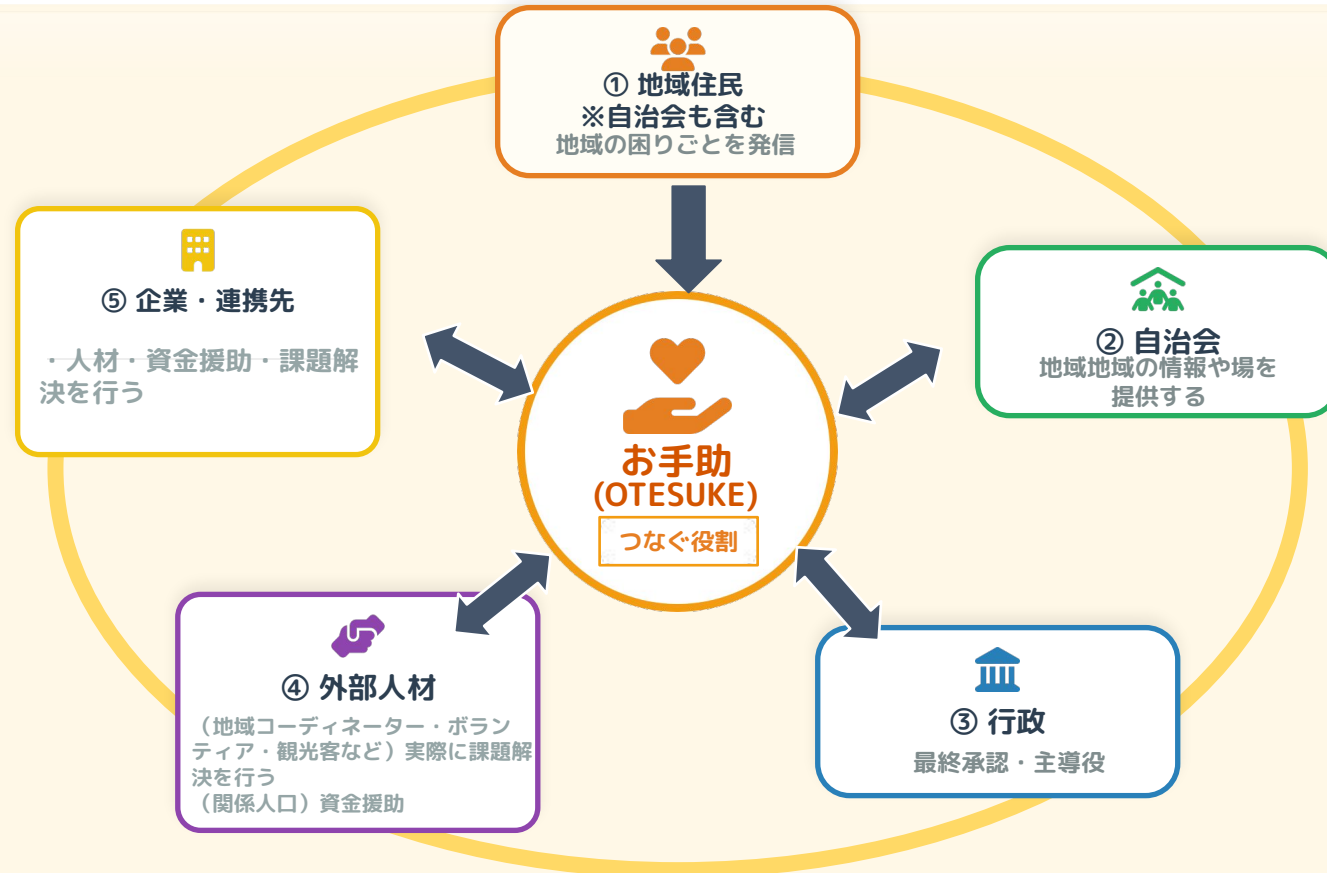
お助け

地域課題・ニーズ
(困りごと)

=

お手助

マッチングの仕組み
(OTESUKE)

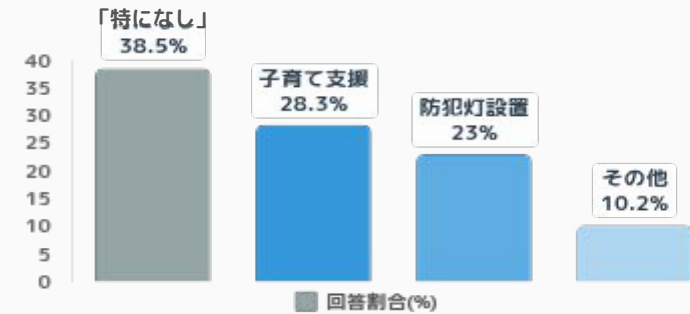


① 地域ニーズ（困りごと）の専門化

- 活動に「特になし」と回答する層が一定数存在するものの、子育て、防犯など専門的

出典：「生活環境の満足度および自治会をはじめとした地域への要望調査」アンケート結果分析（2018年）

【グラフ1】自治会に期待する活動（どのような取り組みがあると加入するか）

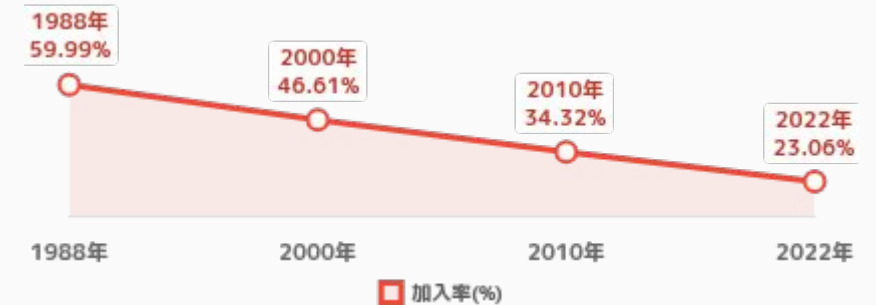


② 自治会の加入率減少

- 加入率低下（35年で半減以下）で人手不足

出典：宜野湾市HP オープンデータより

【グラフ2】自治会加入率の推移（宜野湾市）

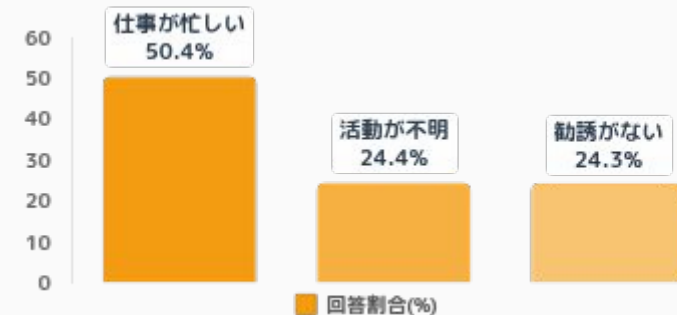


②-1 自治会の加入率減少: 自治会に加入しない理由

- 仕事が忙しい（50.4%）が最大の不参加理由
→無関心ではなく、時間の余裕がないと示唆

出典：「生活環境の満足度および自治会をはじめとした地域への要望調査」アンケート結果分析（2018年）

【グラフ3】加入しない理由TOP3



課題 = 現状 (AS-IS) と あるべき姿 (TO-BE) の **ギャップ**

現状 (AS-IS)

課題 (ギャップ)

あるべき姿 (TO-BE)



①
地域ニーズ
(困りごと)

地域ニーズ (困りごと) の専門化

- 子育て、防犯、など多岐にわたり専門的

📊 グラフ1参照

自治会の加入率減少

- 加入率低下 (35年で半減以下) で人手不足

📊 グラフ2参照 📊 グラフ3参照

自治会の加入率減少: 自治会に加入しない理由

- 仕事が忙しい (50.4%) が最大の不参加理由
→無関心ではなく時間の余裕がないことを示唆

地域の課題と解決主体を結びつける持続的な仕組みが存在していない。

- 専門性を持つ企業や人材と連携できていない
- 持続的に運営できる構造になっていない
- 多様な人が関われる設計になっていない

ニーズ (困りごと) と専門性がマッチする仕組み

- ✔️ 専門性につなげられる連携構造

無理なく関われ、持続的に回る仕組み

- ✔️ 善意に依存しない報酬設計も組み込んだ設計
- ✔️ 多様な参加形態 (単発・スキマ時間)

ギャップを埋める仕組みのコンセプト

= 地域の困りごとに"手が届く人"をつなぐ

何を実現するの？

地域の課題を適切な解決主体に届ける持続的な仕組みへ
変える

どうやって？



デジタルを活用し、誰もが無理なく参加できる設計で、
地域の困りごとと“手が届く人”をつなげる

どんなことが期待できるの？

- ニーズ（困りごと）が適切な解決主体につながり、解決される
- 善意に依存しない持続可能な運営
- 参加のハードルを低くし、働き世代も参加できる

I. お手助で取り扱う困りごと

- ・短期／単発でも対応可能な案件
- ・共助で解決可能な内容



子育て支援



地域の防犯



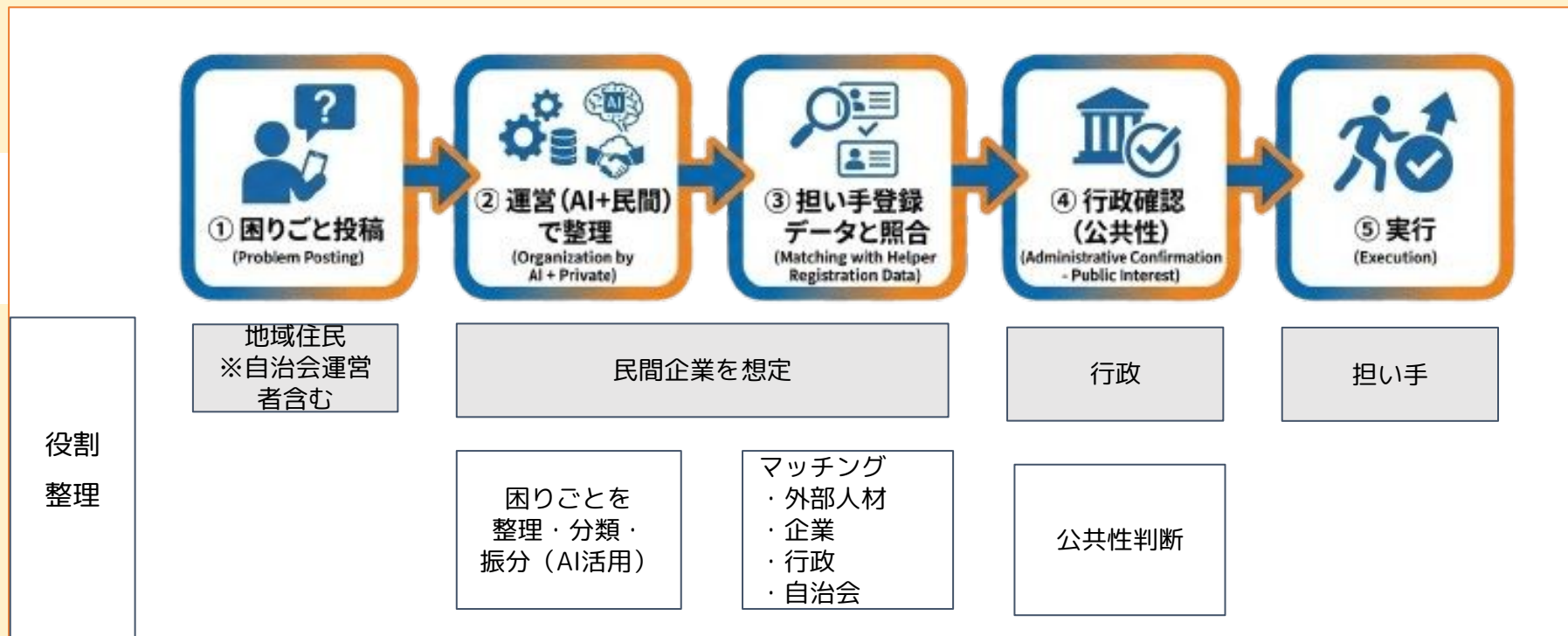
高齢者見守り



地域運営支援

II. お手助の流れ

- ・デジタル一元窓口



III. 報酬・運営モデル



報酬

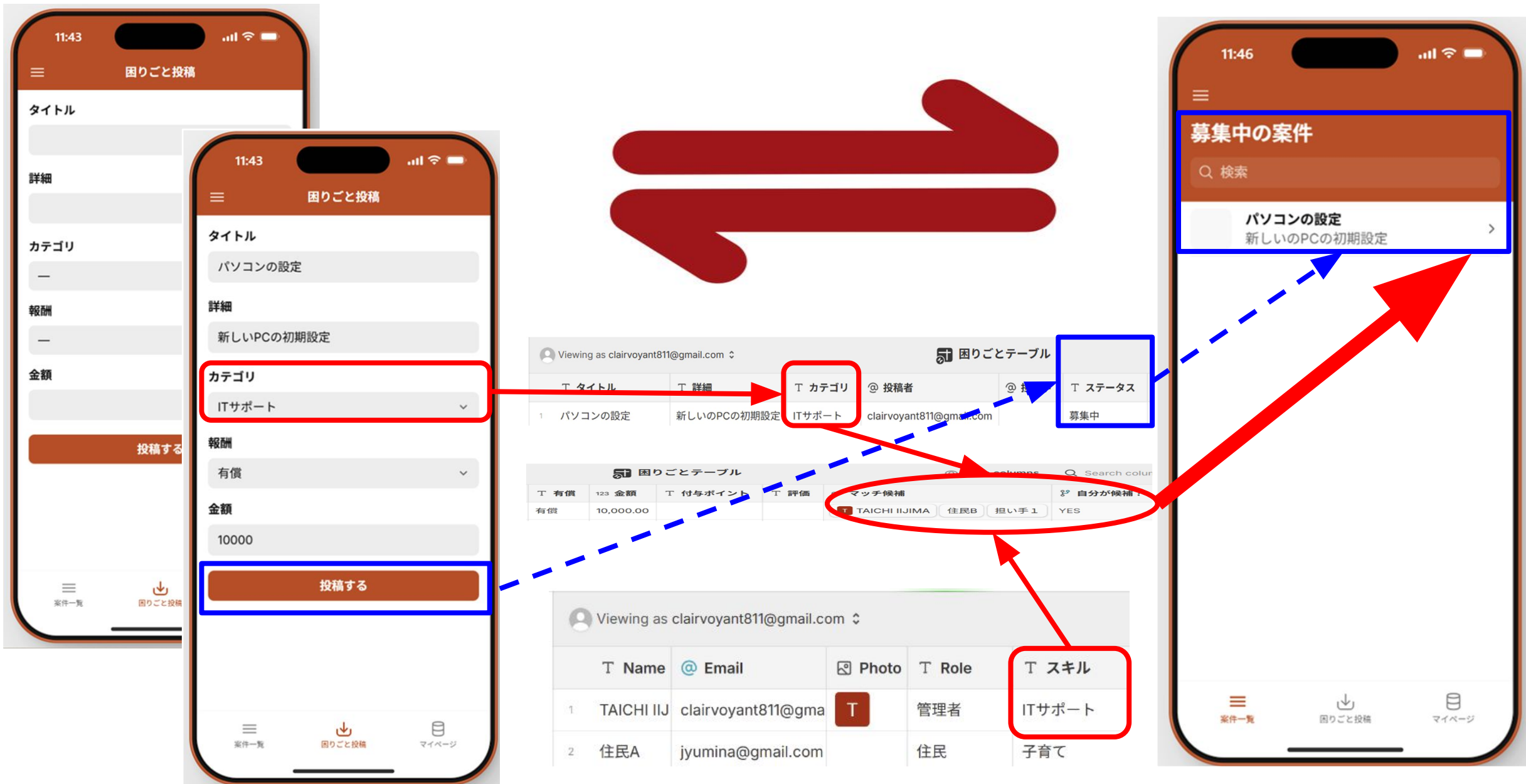
【案件ごとの報酬】

- ・原則：困りごと投稿主負担
- ・有償／無償選択可
- ・公共性案件は行政支援

運営モデル

【サービス運営資金】

- ・解決主体としての企業
- ・関係人口支援（クラウドファンディング?）

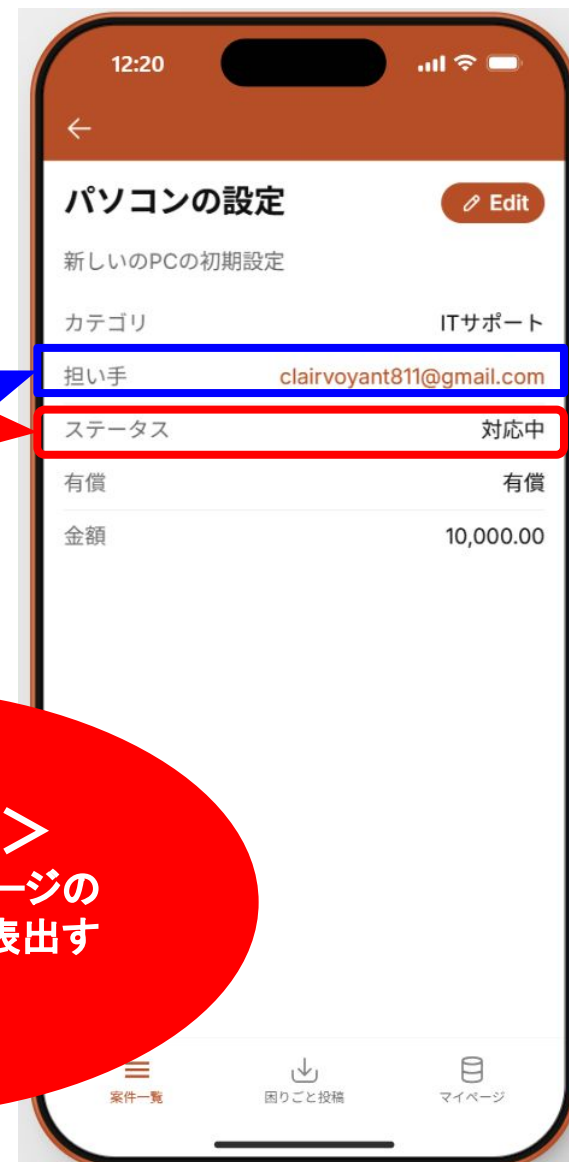




Viewing as clairvoyant811@gmail.com

困りごとテーブル

T タイトル	T 詳細	T カテゴリ	@ 投稿者	@ 担い手	T ステータス
1	パソコンの設定	新しいのPCの初期設定	ITサポート	clairvoyant811@gmail.com	対応中



＜担い手のみ＞

募集中の案件で、スキルと
マッチした担い手のみ、応募
ボタンが表出する。

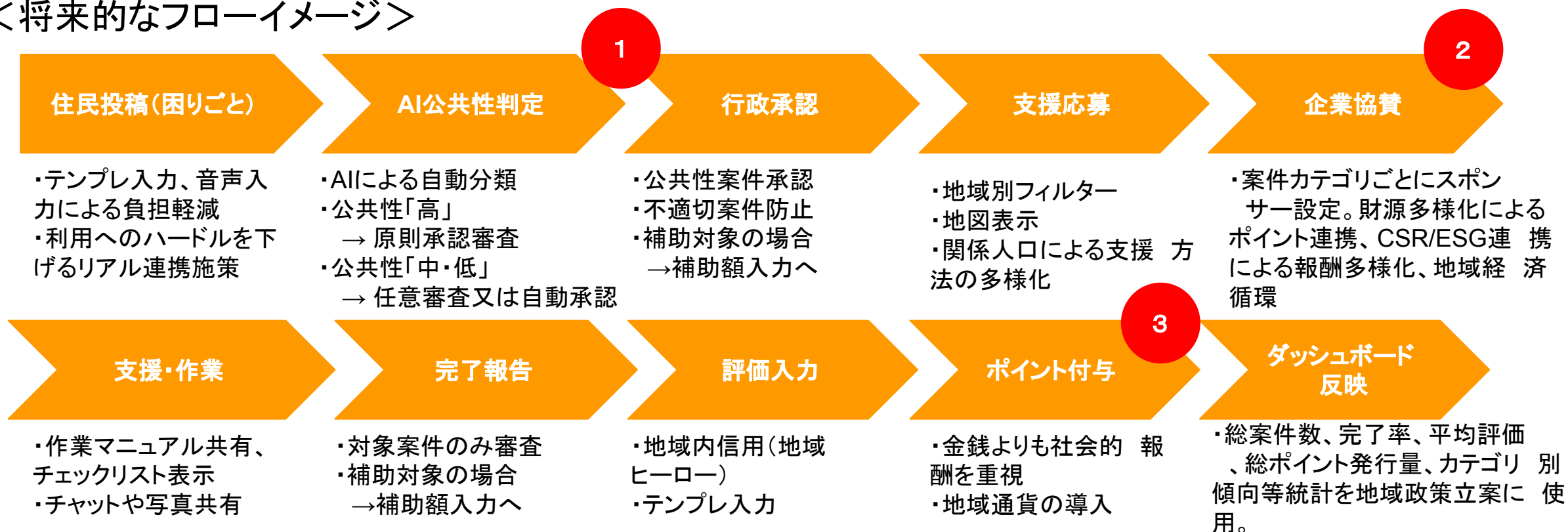
＜担い手のみ＞

応募した案件はマイページの
詳細に、完了ボタンが表出す
る。

将来的には以下のような機能の実装を検討。

- ①AI判定と行政承認による透明性・効率性の確保
- ②企業の参画による企業協賛で支えるモデル
- ③評価・ポイント制度による持続可能な地域参加促進と地域循環型経済の構築

<将来的なフローイメージ>





①お手助とは？

コンセプト：
地域の困りごとに、“手が届く人”をつなぐ。

・ 仕組み：
スキルや時間に余白のある人・組織がお手すきのときに、スマホ一つで無理なく地域に関われる設計

・ 目指す未来：

地域課題と解決主体を接続する、持続可能なデジタルゆいまー

②どんな効果があるのか？

⚡ 困りごとが“早く・確実に”解決される

🔄 助け合いが一部の人に偏らない

👤 若い世代も地域に関われる

🔄 ゆいまーが“仕組み”として続く

③ステークホルダーごとのメリット



行政

- 問い合わせ一次受けの集約
- 地域ニーズの見える化
- 職員負担の軽減と関係人口活用



企業・連携先

- 地域との接点創出
- 地域ブランド価値の向上



自治会

- 担い手不足の緩和
- 運営負担の軽減



地域住民

- 相談先に迷わない
- 気軽に地域貢献に参加でき、愛着向上